

科目名	英語基礎 A (英語表記: Basic English A)						
科目担当者	徳地 慎二 (英語表記: TOKUCHI Shinji)						
単位数	2	配当年次	1	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [総合教育科目 外国語] 経営学部・経営学科 [総合教育科目 外国語]				ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)	
授業の概要	<p>英語は今や、世界の共通語としてその地位を築き上げています。私たちが日々利用するインターネットも、全情報量の8割以上が英語であるとも言われています。また日本国内に目を向けても、社内の公用語を英語にしている企業も見られます。グローバル化の時代において、英語の重要性はますます高まっていくことでしょう。</p> <p>そこで本授業では、英語の基本となる「文法・語法・語彙力」および「情報検索能力」の向上に特化した授業を行います。高等学校までの既習事項を踏まえつつ、文法力をさらに伸ばし、英語学習に必要な文法力を身につけていってほしいと思います。そのためにも、予習や復習、小テスト勉強を積極的に行うようにしてください。</p>						
授業の到達目標	<p>① 英文法についての知識を身につけ、状況に応じて正しく使うことができるようになる。</p> <p>② 平易な英文を読み、状況に応じて正しく理解することができるようになる。</p>						
授業計画・内容	1	Unit 1 一般動詞と be 動詞 (現在形): 文法復習					
	2	Unit 1 一般動詞と be 動詞 (現在形): 発展演習 B					
	3	Unit 2 一般動詞と be 動詞 (過去形): 文法復習・演習 A					
	4	Unit 2 一般動詞と be 動詞 (過去形): 発展演習 B					
	5	Unit 3 疑問文: 文法復習・演習 A					
	6	Unit 3 疑問文: 発展演習 B					
	7	Unit 4 否定文: 文法復習・演習 A					
	8	Unit 4 否定文: 発展演習 B					
	9	Unit 5 文型と文の要素: 演習 A					
	10	Unit 5 文型と文の要素: 発展演習 B					
	11	Unit 6 進行形: 文法復習・演習 A					
	12	Unit 6 進行形: 発展演習 B					
	13	Unit 7 受動態: 文法復習・演習 A					
	14	Unit 7 受動態: 発展演習 B					
	15	前期の総復習					
授業外学修 (事前学修)	<p>① 事前に指定した予習を行い、授業に参加してもらいます。</p> <p>② 必要に応じて Moodle に課題を提出して授業に臨んでもらいます。</p> <p>③ 必要に応じて配布するプリント学習を行ってもらいます。</p>						
授業外学修 (事後学修)	<p>① 学習した内容を復習し、質問がある場合は moodle 上の質問コーナーに書き込む。</p> <p>② 次週の予習を行う。</p> <p>③ 1か月に1回、実施予定の小テストの準備を行う。</p>						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	① Moodle 上への課題提出 (成績の優劣は問わない) 及び授業に積極的に参加する姿勢				① 30%	① ②	
	② 小テスト				② 20%	① ②	
	③ 筆記試験				③ 50%	① ②	
成績評価基準	<p>秀: (評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優: (評点 80 点~89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良: (評点 70 点~79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可: (評点 60 点~69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可: (評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合</p>						
教科書	Laugh and Learn – Back to the Basics, Keiko Kimura (他著) 南雲堂						
参考文献	英文法解説書 (中学・高校で使用していたもので可)						
その他	<p>・授業には必ず英和辞典を持参すること (電子辞書可)。</p> <p>・その他、授業の詳細については、授業担当者の指示に従うこと。</p>						